

宇部協立病院

所在：〒755-0005 山口県宇部市五十目山町16-23



募集人数	待遇	病床数
2名 (令和6年度採用予定人数)	給与1年目:400,000円/月 給与2年目:450,000円/月	159床

医療の安全性と平等性を地域で実践するために医療生活協同組合と医療生活協職員の手で創り上げた病院です。プライマリ・ケアを担う病院として、高度医療においては大学病院などの隣接病院と連携し、地域に求められている医療とは何かを意識しながら、安全・安心の医療と患者の人権を大切に医療、無差別平等の医療を推進していきます。

研修プログラムの特徴

宇部・小野田地域を中心に予防から診断・治療・リハビリ・介護までを実践しながら、医療制度をよくなる運動にも取り組んでいます。プライマリ・ケアの習得に最も適した中規模病院で、地域医療を進めつつ、「生活している」患者さんを実感しながら、自らの将来の医師像を描いていける臨床研修を実施します。

研修スケジュール例

1年目	内 6カ月	救 3カ月	小 1カ月	産 1カ月	精 1カ月
	内…内科、救…救急部門、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科				
2年目	外 1カ月	地 1カ月	必須診療科・選択科から希望に応じて選択可能 10カ月		
	外…外科、地…地域医療、 選択科目…総合診療科、麻酔科、整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、保健・医療行政、内分泌内科、神経内科				

関連病院

- ・山口大学医学部附属病院
- ・宇部興産中央病院
- ・長門一ノ宮病院
- ・生協小野田診療所
- ・山口赤十字病院
- ・林道倫精神科神経科病院
- ・わたぬきクリニック
- ・健和会大手町病院
- ・鳥取生協病院
- ・山口県庁
- ・山口県萩健康福祉センター

主な勉強会

採血実習、抄読会、研修医カンファレンス、エコー研修、読影、全国並びに中国四国地域の他県研修医と一緒に研修・交流 など

臨床研修病院

プログラム責任者

西村 洋一 医師



Q 当院の自慢は？

救急から、リハビリテーション、在宅医療まで幅広い医療を展開しています。また、無料低額診療という経済的に困窮した患者さんの負担を軽減する制度に積極的に取り組んでいます。

Q 研修内容のセールスポイントは？

受け入れられる研修医の数が少ない分、個々の先生とよく話し合いをしてオーダーメイドな研修ができます。他職種との垣根が低いので、チーム医療を実感しやすいと思います。

Q どんな指導を心がけていますか？

支援と自主性のよいバランスを意識して、症例から一緒に学ぶ姿勢で指導していきたいです。

Q 医学生へのメッセージ

緊張やストレスの多い時代ですが、肩の力をぬくことも忘れないでください。

研修医

研修1年目 [山口大学出身]

恵美 拓也 医師



Q 研修先として選んだ理由

当院は「在宅療養支援病院」として在宅医療に力を入れている病院です。自分自身の興味関心と今後の医療需要的に在宅は外せないと考え、それらが合致したため希望しました。また、先輩から行政機関との研修連携を結んでもらえたという研修プログラムの柔軟さも聞いていたので、それも魅力の一つでした。

Q この病院を選んできたこと

研修への対応力とコメディカルとの連携力の高さです。当院は研修医2名と人数は少ないですが、その分要望や疑問に素早く対応してもらえます。また、当院では最初の1か月間で、医療事務やMSW、介護士など様々なコメディカルの方々と関わる機会があります。この期間でそれぞれの職業の理解を深めることができ、患者を多角的に捉えられ、患者へのアプローチ手段を広げることができます。

Q 研修で身についたこと

患者の社会的背景を考えることです。前述した1か月の導入期間のおかげで、他職種の視点で学ぶことができ、自然と患者の社会的・経済的背景などに目が向くようになります。自宅での様子やリハビリの様子、使用している医療サービスや行政機関などの様々な情報が集まることで、治療目標が具体的に設定しやすくなり、患者への声かけも変化していきます。

Q 医学生へのメッセージ

当院は小さな病院ではありますが、医療スタッフ全員で協力して患者を診るという共通認識があります。様々な医療資源を使って、「いかに病院全体で患者をサポートするか」を学ぶことが出来る点は、最大の魅力だと思っています。中小病院のため症例数の上限はありますが、他病院での研修を組み込むことで必要な症例は経験することが出来ます。当院の研修に興味がある方は、ぜひ見学にお越しください。

お問い合わせ先

●担当部署：医局秘書課 ●担当者：林 ●電話：0836-33-6111
●Eメール：hayashic399@gmail.com